

# 花と緑の銀行だより

161号 2006.9



アキギリ/富山市八尾町

## 目次

・花と緑の提言.....	2	・技術情報.....	5
・活動事例.....	3	・写真コーナー.....	6
・花づくりコーナー.....	4	・情報コーナー.....	7
・この人あり.....	5		



## 校区を花でいっぱい

高岡成美花と緑の推進協議会会長 田中 博

### はじめに

本会が発足して20年になります。「校区を花でいっぱい」は、本会創設以来、一貫して変わらぬねらいとして今日に受け継がれています。しかし、花壇の規模、花の種類、会員の数や意識など歳月の経過とともに変化したものもあります。私たちは、この変わらないものと、変わるものを意識しながら、テーマを設けて取り組んでいます。

### 変わる活動として「モデル花壇」の試み

活動の中心花壇です。かつて「美しい」あるいは「コンクールを目指す」が主たる目的であったように思われます。しかし、このような立場では、活動がマンネリ化するのではと考えました。

そこで、構成員の実態、花壇のある環境を考慮しながら、地域の花好きの人にさまざまな意味で「モデル」となり得る花壇あるいは「実験的な花壇」に視点を据えて、以下に示す活動を試みています。

- ア) 1年草は可能な限り会員が育てた苗を利用する
- イ) 花壇に多年草や宿根草を多く取り入れる
- ウ) 年間を通して花がある組み合わせを工夫する
- エ) ハンギングなど、個々の会員の作品を飾る
- オ) 花木、多年草などを配したミニ花壇を造成し、花壇にアクセントをつける



### 変わらない「地域を花でいっぱい」活動

地域を花でいっぱいにするためには、いくつかの条件が必要です。私たちは、とりあえず、花苗が手に入りやすいこと、身近に相談できる人がいること、花の話題が多いことなどが花いっぱいのための要件と考え、次のようなことを試みています。

- ア) 会でビニールハウスを作り、会員が苗を育て、校区の各自治会や各種団体、個人に提供する。



- イ) 校区に幾つかの拠点花壇を設け、花作りの技術指導や協力をおこなう

冒頭に述べたように、「校区を花でいっぱい」が本会創設以来の願いです。私たちは小学校、中学校、保育園、ミニ公園、自治公民館など地域の拠点花壇を設け、必要に応じて出向き、技術指導や協力活動を行っています。

- ウ) 会員の研修

会員は現在45名です。それぞれの経験、知識、技能は千差万別です。それで会員の要望に応じて研修を行っています。今年はハンギングバスケット作りを花栽培の基礎として位置付け、初心者を中心に土作りや様々な花の特性を中心に研修を行いました。製作したバスケットはモデル花壇に飾っています。

- エ) 校区で「花いっぱいコンクール」実施

すでに今年は14回目を迎えました。例年30件前後の応募があります。気楽に参加していただけるのが長続きの要因であると思います。



### これから

今夏、市の花いっぱい連盟主催の町並フラワーラインコンクールで「高岡市モデルフラワーロード賞」を受賞しました。これを機に、更なる「モデル花壇と花いっぱい」活動に取り組みたいと考えています。

## ～秋から春まで楽しむ花壇づくり～

富山県花総合センター

主任研究員 今井 徹

もともと早春の花だったパンジーやビオラが、栽培方法や品種の改良で秋から初夏までの長い間楽しめるようになってからは、秋から春にかけての花壇づくりがより楽しくなりました。というのも、ハボタンやプリムラ、ガーデンシクラメンなどの冬花壇の主演たちと、チューリップ、スイセンなどの春花壇の主演たちの間を切れ間なくつないでくれるおかげで、夏花壇以上に長い期間、華やいだ花壇を楽しむことが可能になったからです。更には、豊富な花色を利用してデザインを凝らした模様を作り、個性的な花壇を楽しむ事例も多くみられるようになりました。ここでは、春花壇の定番となっているパンジー・ビオラを中心に秋から春まで楽しめる花壇づくりについて紹介します。

### ◆パンジーとビオラの違い

以前は花に目の模様（ブロッチ）があり、花の大きさ（花径）が5cm以上のものをパンジー、ブロッチが無く、花径の小さいものをビオラとしていました。しかし、品種改良が進み、当てはまらないものが多くなってきたので、現在では花径の大小のみで区別し、大きいものをパンジー、小さいものをビオラとしているようです。

### ◆豊富な花色を楽しむ

パンジー・ビオラは花色が豊富なおうえに、一面に花が咲くため、“色遊び”を楽しむことができます。同系色で柔らかなイメージに仕上げたり、類似した色の濃淡でグラデーションを作ったり、色同士が引立てあう補色（例えば、黄と青紫色、青と橙色など）をつかってコントラストのはっきりしたパターンを作ったり、組合せ方しだいで様々な表情が楽しめます。

パンジー



### ◆パンジー・ビオラと組合せると面白い花

パンジー・ビオラは、こんもりと茂る感じで咲くので、チューリップやスイセン、ストックなど、背の高い草花を組合せると立体的な花壇を作ることができます。また、スイートアリッサムやワスレナグサのように小花の植物を縁取りに加えるとパンジー・ビオラの花がより引き立つような印象になります。一方、花ばかりでなく、シロタエギクやハボタン、斑入りのチューリップの葉など、個性的な葉もの（リーフプランツ）を使って、寄せ植えのように見せ場（フォーカルポイント）を演出するのも面白いと思います。

### ◆切り戻しでリフレッシュ

春になると冬の間我慢していた芽が一斉に伸び始めます。それまで綺麗に整っていた株が間延びして乱れてしまう場合には切り戻しを行います。但し、半分程度まで切り戻した場合、花が咲き揃うまでには1ヶ月近くかかするので、時期と花壇全体のバランスをみて、切り戻しの程度を加減します。また、ちょうどこの頃から、下葉が黄色くなって肥料切れになる株がみられてくるので、一般的な草花用の液肥を薄めに与えるか、緩効性の固形肥料を置き肥するようにします。

以上、今秋の花壇はパンジー・ビオラをベースにハボタンやチューリップ、スイートアリッサムなどを組合せることで、秋から春まで楽しめて、かつ、人目を引くような花壇づくりに挑戦していただきたいと思います。

ビオラ



## 緑花活動が世代を超えて地域住民と繋がりと和

砺波支店 庄下地区頭取 吉田 興信



平成8年、矢木集落の自治会長に推されてグリーンキーパーとして、自治会の手伝いをしてまいりました。昨年より、前頭取の後を引継いで、グリーンキーパーさんとともに、庄下各地区内の花壇の手入れ指導及び管

理をしています。

当地区はチューリップ生産の発祥の地で、4月中旬からゴールデンウィークともなれば、県内外より大勢の観光客が訪れる所です。

その来訪者を迎える為、また、「チューリップの里」＝「花の里」のイメージを損なわない様にと年間を通して緑花活動に取り組んでいるところです。その一環として、地区内幹線道路の植樹帯や地区民ふれあい広場など、年3回～4回の除草作業をグリーンキーパーはじめ、若い世代から老人クラブを含めて多くの方々の協力を得て実施しています。

また、平成8年の第13回全国都市緑化フェア「彩

りとやま緑化祭96」の開催を契機として始まった、砺波市の市民参加型の花と緑のコンクール「私達の夢花壇」にも参加しまして、これまでに春花壇・夏花壇の部で、数回入賞いたしました。毎年毎回グリーンキーパー全員で、花の種類やデザインに一同で思いを巡らしているところです。

これまでは、各集落自治会設置の花壇苗は主に1年草の花苗を配布していましたが、本年は宿根草の苗を取り入れ、大方をプラグ苗を育成し、各花壇を賑わしました。グリーンキーパー諸氏には、苗の植替え、水やり、消毒等大変な作業でしたが種苗費の削減になり意義のある事でした。

年間数回の除草作業や、花壇作り、事前の準備、花苗植付後の世話など多くの方々との時間と努力で成り立っているのですが、その事が緑花活動の盛り上がりとなり、また世代を超えた地域住民の繋がりを強くし和を大きくするものと、今後も活動を盛んにしてゆきたいと思っています。

### （技術情報）

## 草花の害虫とその防除法（10）

### ケムシ、イモムシ

富山県立大学非常勤講師 成瀬博行



ケムシとイモムシは、蛾や蝶の幼虫ですが、その姿形がグロテスクだとして嫌われることが多く、特に女性には恐怖心を与えるようです。ケムシなどは、知らずに手でさわ

ったら刺されると思われがちですが、実は刺すケムシはごく一部で、ほとんどのケムシは全く刺しません。例えば、写真のヒメシロモンドクガも、いかにも痛そうな棘を全身にまっています刺しません。

一方、刺すケムシで最も危険なのは、ドクガとチャドクガで、卵～成虫まで全ての発育ステージで毒針を持ちますが、刺されると猛烈にかゆく、腫れ上がり、治癒するのに1週間以上もかかるといわれています。また、イラガの仲間、カキやカエデなど庭木でよく見ますが、うっかりさわってしまって、ヒリヒリと腹立たしい痛みを経験した人も多いでしょう。その他、カレハガの仲間やマダラガの仲間などに刺すケムシがいます。

刺さなくても、人に嫌悪感や恐怖感を与える昆虫を不快昆虫といいます。嫌悪感や恐怖感は個人差があり、どれが不快昆虫か必ずしも決まっているわけではありません。しかし、ケムシやイモムシは、嫌いという人が多いので不快昆虫の代表とされています。葉や花を食べることにより、生育や鑑賞価値を

損ねるだけでなく、人に不快感を与える点で有害といえます。

草花で発生するケムシの種類はあまり多くありませんが、花壇に植えられた樹木には、アメリカシロヒトリやヒメシロモンドクガなど、色々な種類のケムシが発生するので注意が必要です。

ナシケンモンはガーベラ、スイートピー、グラジオラスなど多くの草花を加害します。また、バラには刺すケムシのドクガやイラガの他、マイマイガやモンシロドクガなども発生します。

イモムシでは、ハスモンヨトウ、ヨトウガなどヨトウムシ類が非常に多くの種類の草花で見られますが、これらは野菜の重要害虫でもあり、多発すると葉や花を激しく食害します。キクキンウワバもキクの他色々な草花を加害します。その他、ヨモギエダシャクは、きわめて広食性で、各種の草花だけでなく、樹木やダイズの葉まで食べます。まれに大発生することがあり、大型のシャクトリムシだけに食べる量も多く、被害は大きくなります。大型といえば、スズメガの仲間もかなり大きなイモムシで、派手な模様があり、尻に目立つ突起を持つので、とても不気味な存在といえます。草花としては、ベニスズメやセスジスズメがホウセンカ、エビガラスズメがアサガオを加害し、体が大きいだけに丸坊主にすることもあります。

## 平成18年度 推奨花壇写真集

★★★★★

四方ガーデニング愛好会（富山市）



富山市立四方小学校・保育所隣接遊歩道

高波花と緑の推進協議会（砺波市）



砺波市高波 砺波市農協高波支所隣接 農村公園内

小杉花づくり同好会（射水市）



射水市歌の森運動公園多目的グラウンド隣接（中央図書館側）

浅井ひとみさん（射水市）



射水市下条 下条バス停付近 下条構造改善センター隣

大島葉子さん（砺波市）



砺波市林 砺波北部小学校付近 北部こども園斜前

梅檀山花と緑の推進協議会（砺波市）



砺波市井栗谷 井栗谷トンネル付近（山田方面側）

★★★★★

宮ノ下村づくり会  
（富山市八尾町）富山市八尾町宮ノ下  
県道西松瀬・八十島線  
宮ノ下公民館前付近

## 花と緑のニュース

## 平成18年度富山県花のまちづくりコンクール審査結果

平成18年度富山県花のまちづくりコンクール現地審査が去る8月21日（月）から25日（金）にかけて連日猛暑の中行われました。県コンクールの審査日が8月下旬となったことや、梅雨明け以来の連日の猛暑もあり、花壇の維持管理に相当の苦勞が何われました。どの花壇もいずれも劣らぬ出来映えの中、審査が行われました。今年度の各部門の最優秀賞は下表のとおりです。

平成18年度  
花と緑のコンクール  
審査結果

コンクール名	応募数	応募数	最優秀賞
学校花壇	20	9	氷見市立海峰小学校
幼稚園・保育所花壇	17	9	高岡市成美保育園
一般花壇	27	11	砺波市鷹栖花と緑の推進協議会
花の道	13	8	高岡市成美校下花と緑の推進協議会
個人花壇	12	9	砺波市西島かな子

## 富山市八尾町宮ノ下村づくり会が緑化推進運動功勞で内閣総理大臣賞を受賞

平成18年度緑化推進運動功勞者表彰に、本県から富山市（旧八尾町）の宮ノ下村づくり会が、内閣総理大臣表彰を受賞されましたので紹介します。この表彰は、緑化運動の推進や緑化思想の普及啓発に顕著な功績のあった個人、団体を内閣総理大臣が表彰しています。宮ノ下村づくり会では、昭和58年から本格的に花の街道づくりを開始し、地区を通る県道沿線の花の植栽・除草・清掃等の管理を35人の会員で行っています。その美しい街道は田園風景とも非常に調和しており、「やまあいの桃源郷」として訪れた人々の心を癒す場となっています。



花の街道の風景



宮ノ下村づくり会のみなさん

## お知らせ 第34回花と緑の大会の開催について

日時 平成18年10月21日（土）午後1時30分

場所 フューチャーシティ ファボーレホール 富山市婦中町下轡田165-1

内容 県功勞表彰 花と緑の銀行理事長表彰 花のまちづくりコンクール表彰

講演会 「野に遊び 自然に触れ 自然に学ぶ」山田卓三（理学博士 名古屋芸術大学名誉教授）

表紙写真「アキギリ」：秋の山野に多く観られる多年草。花は鮮やかな紫色

裏表紙写真「アキギリ」：極まれに見られるアキギリの白花品

写真提供：花総合センター部長 名畑清信



アキギリ（白花）/立山町産主坊

## 花と緑の銀行だより 161号

発行日 平成18年9月

編集発行 財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市錦中町上巻田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市錦中町上巻田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org>

富山県花総合センター

〒939-1383 富山県砺波市高道46-3

TEL 0763-32-1187

FAX 0763-32-1219

ホームページアドレス <http://WWW.pref.toyama.jp/branches/1692/1692.htm>

県民公園類成の森

〒939-1431 富山県砺波市類成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ran/youanomori/>

**♻️100** 古紙配合率100%再生紙を使用しています。

